



令和3年度日米共同方面隊指揮所演習(日本)(YS-81)

概要	本日、防衛省南関東防衛局から市に対して、次のとおり、情報提供がありましたので、お知らせします。
とき	12月1日(水)～13日(月)
ところ	伊丹駐屯地、朝霞駐屯地、座間駐屯地、相浦駐屯地など
内容	<p>○名称 令和3年度日米共同方面隊指揮所演習(日本)(YS-81)</p> <p>○目的 陸上自衛隊および米陸上部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練して、同活動に係る能力の維持および向上を図ります。</p> <p>○座間駐屯地参加部隊</p> <ul style="list-style-type: none">・陸上自衛隊 陸上総隊(約100人)・米軍 在日米陸軍司令部(数名)、陸軍第1軍団(約110人)、太平洋陸軍(約10人)・豪軍(オブザーバー参加) 陸軍第1師団司令部(約20人) <p>○演習の概要</p> <ul style="list-style-type: none">・日米の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした、陸上自衛隊の最大かつ最重要の日米共同演習・より効果的な演練のため、日米共同により年間を通じた演練を実施・演習内容は、着上陸する敵部隊への対応作戦を基本とし、この作戦を日米共同で演練 <p>○演習の形態 テレビ会議の活用も含めた訓練を実施します(実動訓練は実施しない)。</p> <p>○新型コロナウイルス対策</p> <ul style="list-style-type: none">・演習に参加する自衛隊員については、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加します。・米軍は、在日米軍の定める基準などに基づき、自衛隊と同様に必要な感染症対策を徹底します。・国外から訓練に参加する米軍関係者は、2回のワクチン接種を完了するとともに、演習参加前にPCR検査を受検し、陰性の者のみが参加

	<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日（日）以降、米本土から演習に参加する米陸軍の人員(約120人)が、新型コロナウイルス感染症対策のため、キャンプ座間において10日間の停留を実施しつつ、陸上自衛隊参加部隊との間で訓練を実施します。 ・停留期間中は感染症対策を万全に行った上で訓練を実施し、基地から外出しないことについて米側に対して申し入れ済みです。 ・日米ともに陽性患者が発生した場合、各自治体に対する情報提供とともに、対外公表内容について米側と調整した上で、日米共同にて公表を行います。 <p>※本市からは、次の通り、要請を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今回の演習および停留について、運用の変更がある場合には、適時適切な情報提供を行うこと。 ○演習にあたっては、市民に不安を与えないよう、十分配慮すること。 ○基地の機能強化につながるものがないこと。 ○演習および停留中、基地従業員等と接触する際には、感染防止策を徹底すること。 ○万が一、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合には、感染拡大防止対策を講じ、市に対し速やかに情報提供を行うこと。 <p>※なお、当該情報は、本日、相模原市において発表される情報と同一のものであります。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>市長室 渉外課 交流・基地対策係</p> <p>TEL 046 (252) 8035 FAX 046 (255) 3550</p>

